



平成 28 年（2016 年）11 月 15 日 第 4 号

暑い夏が過ぎ、すっかり秋の風を感じるようになりました。夏の間、プールで水遊びを楽しんでいた時間がお散歩の時間になりました。久しぶりにお散歩に出たら、野川では成長した鴨の親子の姿がみられ、田んぼでは稲穂が黄金色になり、あぜ道には案山子の姿がみられるようになっていました。このような自然の変化を感じると同時に、5 人のたんぽぽの子供たちの成長も感じています。春はなかなか上手に歩けなかったのにすっかり上手に歩けるようになっていたり、靴下が自分ではけるようになっていたり、お話ができるようになっていたり、お片付けができるようになっていたりと挙げたらきりがありません。そしてこれからももっともっと成長していきます。そんなみんなを見守りながら楽しく日々を過ごしていこうと思っています。

さて、夏の間、たんぽぽではどんなことがあったかな？振り返ってみましょう。

プールで水遊び

お気に入りの水着に着替えてお外に出ます。水を怖がる子はいません。みんなプールに飛び込みそうな勢いで入っていきます。ぞうさんのジョウロでお水をジャー、カラフルな金魚をすくったよ。ちょっと顔に水がかかっても泣きません。プールの中でワニさん歩きもできるようになりました。

八雲苑でいっしょに

八雲苑のおじいちゃん、おばあちゃんとの交流会もいっぱいありました。

7 月は「音楽の調べ」

赤羽根さんのサクソとウクレレの音色、

素敵でしたね。

フラダンスも上手にできたね。

8 月は「スイカわり」

ちゃんとスイカ割れたね。

そしてとっても美味しかったね。

9 月は「敬老の集い」

真美子先生のビオリラの音色を楽しみ、

おじいちゃんとおばあちゃんにプレゼントを渡しました。

たんぽぽの会

たんぽぽ恒例、夏のイベント。今年は「奥多摩山のふるさと村自然体験」ということで電車とバスを乗り継いで奥多摩へ。東京にもこんな自然がいっぱいのところが残っていたんですね。石細工、木工、陶芸のクラフト体験と魚のつかみ取り体験。楽しかった？そして美味しかった？

- * 電車とバスを乗り継いで現地へ。
- * 全員集合したらクラフト体験。＜パパとママと一緒に石を削ったり、木を組み合わせたり、お皿を作ったり。＞
- * 林を抜けて川原へ移動。
- * 魚のつかみ取り体験。＜パパとママは靴を脱いで、ズボンをまくって。ぼくたちわたしたちは水着に着替えて、さあ、川へ。素早い魚たちをどうやって捕まえたかな？＞
- * 炭火でやいてもらって、みんなでいただきました。
- * 楽しい時間はあっという間。帰りのバスではたくさんの寝息が聞こえました。

来年度の「たんぽぽの会」は茅ヶ崎での地引網漁を予定しています。個人ではなかなかできない体験です。ふるってご参加ください！

編集後記

子供たちとの時間を通して私たち大人もたくさんの経験や体験をしています。一緒に過ごす時間は長いようでいて、実は短いのかもしれません。時間を共有することを惜しまず、共に過ごすことをどんどん楽しんでほしいと思います。その楽しい一時の企画をこれからもたんぽぽでは提案していきます。